



今週のプログラム

●第2468回 (6/23)
●会場 京王プラザホテル八王子

*講師例会 黒須 隆一氏

テーマ「日台友好から見た
ジュニア国際フレンド事業」

次のプログラム

●第2469回 (6/30)
●会場 京王プラザホテル八王子

*最終例会

幼稚園は、両親が共働きだったため、甲の原保育園に通いました。大きくなっても人見知りをして気弱な私が、しかも小さかったので、保育園に行っても、教室を抜け出し、よく泣きながら

という意味だそうです。
親父が既に独立をして不二電業社という電気工事会社を起業していたので、倉庫と駐車場と自宅を構えていました。不二電業社とは「二つとない会社」という意味だそうです。

私は、生まれた病院はわかりませんが、1969年3月7日に大横町の郵便局の近くで生まれました。3人兄弟の長男です。そこに住んでいた記憶はありませんが、私が2歳くらいの時に、今の実家のある中野上町の第九小学校の近くに引っ越してきたそうです。中野上町では、親父が既に独立をして不二電業社という電気工事会社を起業していたので、倉庫と駐車場と自宅を構えていました。不二電業社とは「二つとない会社」という意味だそうです。

幼少時代



秋間 勝仁 会員

から家に一人で歩いて帰っていたことを覚えていますが。特に何かあるといった保育園生活ではなかったと思います。
小学校に上がり、自宅から近い第九小学校に入学しました。走っても10分休みに自宅へ帰って、教室に戻る距離だったもので、よく家に帰っては、ジュースを飲んだり、おやつを食べたりして戻っていました。ほぼ毎日忘れ物をしていたことを覚えていますが。このころになると記憶もはつきりとして来ていて、低学年の頃は、同級生が銭湯の隣に住んでいたこともあり、よく銭湯に行つて牛乳を飲んだことを覚えています。また、家が近かったので、学校から帰つてすぐに自転車、下校中の仲間を追いかけ遊びに行つたこともしょっちゅうありました。その頃は駄菓子屋もいっぱいあって、10円玉を握りしめては、水あめを買ったりしていたつが、今の体型になつてしまつたのだと、この前気づきました。話はそれますが、実は小学校2年生まではガリガリで、リレーの選手にもなつていましたが、3年生からは気ずくと着ている服はすべて肥満用で、徒競走は、ほぼビリになつてしまいま

した。でも、当時の本人は全く気づきませんでした。：

4回の入院と 4回の救急車

話を元に戻します。小学校の時は、入院と救急車に乗る機会が多かったです。私は中学生の間までに4回の入院と4回の救急車に乗ることが出来ました。初めての入院と救急車は、幼稚園の時に、高熱を出して夜間病院に親に連れて行つてもらつた帰り道に、薬が合わなかつたのでしよう、ひきつけを起こして救急病院に運ばれました。2回目の入院は、下校途中に、かばん持ちや鬼ごっこをしながら帰つてい

で腰骨を薬指に移植する手術を行い、風邪をひいたこともあり2か月ほど入院しました。3回目は、盲腸でした。夜中じゅう腹が痛く、両親に言つても「胃薬飲んで」といわれるだけで、ついには一緒に寝ていた弟が、「お父さん、なんだか兄貴が変だよ。」と伝えてくれたおかげで、親父の車で南多摩病院の夜間診療へ運ばれました。そこで、腹膜炎寸前だということが分かり、急ぎよ2回目の救急車で、館町の方の井上病院へ運ばれました。その時、幼心にどうして南多摩病院じゃ手術できないの?と思いました。親父は医者になつてほしいと怒られてたようです。この2つ目の病院がまた曲者で、盲腸で腹膜炎寸前だったので、緊急手術により盲腸の切り口と、膿を出す管を通す切り口で2つの切り口が出来てしまいました。しかも、術後の経過がよくなく、半年後には大横町そばの福圓さんでなんと盲腸の再手術を受けた次第です。なので、私の腹は、盲腸の切り傷2か所と管の切り口1か所と腰骨を取つた4か所の痕があります。また、この盲腸が、小学校の卒業式前日だったこともあり、式後

の集合写真が観察のとおり、右上に枠で囲まれて写っています。なので、卒業式を経験することができませんでした。

カンニングと

神のご加護の6年間

中学は明治学院東村山中学校という学校に入学しました。駅で言うところ西武線の東村山の手前の小川という駅になります。学校は男子校で、高校も合わせ6年間を過ごしました。おそらくこの6年間で私の性格が形成されたのではないかと思うくらい順風満帆な学生生活を送ることが出来ました。皆さん、男子校といえば男臭いというイメージですが、まさにその通りです。教師対生徒、生徒同士は弱肉強食の世界でした。ある者は、授業中に爆竹を分解して、ガチャガチャのカプセルに火薬を詰めて、導火線を穴から出して火をつけて、前の奴の背中にに入れてジュツつと音がしたと思ったら「なんだ爆発しねーや」というやつや、教師のチョーク入るすきにアロンアルファで机にくっつけて、授業後には帰れなくなっていました。逆になんか意味やりの放題でした。逆に一中に行っていた方がよかつたのじゃないかと

思うことさえありました。当然、こんな仲間たちなので、勉強することもなく、テストはもっぱらカンニングで、カンニングの技術を磨くことに時間を費やしていたほどです。ほとんど勉強した覚えはありません。部活はテニス部でした。1年目はボール拾いだっただけで出ませんでした。2年目からは一所懸命参加したことでしょいか。そんな私でしたが、カンニングのおかげで、成績は全体の1/4位のところに位置していました。そこで、何を思ったのか、高校1年生の時に1か月のアメリカ留学を申し込みました。アメリカ留学は本来なら成績上位の者しか行けませんが、偶然にもその年は人気がなく、なんと学校推薦をいただき1か月間留学してきました。その時担任の教師に「職員会議で前の話題で大めしたよ」と言われました。でも、推薦されればうちのものです。本来なら高校1年生で、部活の夏合宿はとっても厳しい期間なのですが、私は堂々と留学し、部活の苦しさは味あわずに過ごしました。また、ホームステイ先は、多くの留学生の殆どが農家で、シャワーも3日に1回や、買い出しも一週間に1回など、とても田舎な場所にステイしたのに対して、私はミシガン州のリゾート地で、ス

テイ先の職業は先生ということ。でダウンタウンの外れに住み、1日の生活といえは、近くのプールへ遊びに行ったり、ダウンタウンへ遊びに行ったりと天国のような生活をしていました。旅行もシカゴや大都市に行きました。明治学院はキリスト教の学校だったので、神のご加護があったのではないかと思うくらい本当にいいこと尽くしの6年間を過ごしました。しかし当然のことながら、そんな状態では明治学院大学にも移行できず、しかも自分の将来も考えたこともなかった。で、とりあえず大学4年間というところで帝京大学経済学部に進学しました。先ずは何か資格の取れるものを考えようと思ひ、大学2年から並行して工学院専門学校電気課夜間部へ、これまた無試験で入学でき、多くの資格が取れるところをチョイスして入学しました。夜間部は日曜日以外は毎日授業があり、だんだん大学に行くことが疎かになり、気づけば夜間部主体の生活になっていました。しかしながら、電気課夜間も基本的に男子校と一緒で、気づけばいつもの学生生活を送り、昼間部の仲間の実験ノートの写しや、カンニング等ですべての単位を落とさずに卒業いたしました。大学も同じ結果で、3年で

すべての単位を修得し、4年生はただ在籍しているだけで、バブル絶頂期だったこともあり、親の車を乗り回し家に帰ることはなく遊んでいたことを思い出します。

子供たちのために

いよいよ社会人になる時が来ました。就職はバブルで売り手市場といえども大手企業からの募集はそんなになく、電気の方も専門学校卒ということで、企業の即戦力にはならない状態でした。また、中高時代の満員電車通学が嫌になっていて、電車で会社に行くサラリーマンは遠慮したいと警戒なことを考えていました。そこで、親の紹介で丁稚奉公のような感じで青梅にある電気工事店に就職しました。

青梅の電気工事屋で、基本的には管理業を学び、4年間修業を積んで八王子に戻ってきました。八王子に戻ってきたのはいいんですが、学生時代遊んでいたのは都内、社会人で飲み歩いていたのは小作。八王子に友人も殆ど居なく、全く八王子のことが分かりませんでした。そこで、ある先輩から誘われたのが青年会議所でした。そこから多くの先輩や友人たちと出会い、その

出会いから地元の中で大きな広がりを作ることができ、その後は子供たちのために何か出来ることはないかと、八王子市立小学校PTA連合会会長などを務めさせていただき、子供たちの教育環境の改善等に頑張ってきました。

現在は、妻と高校1年と小学6年の子供と頑張って生活しています。下の子の子供の夢を学校で聞かれたところ、子供は家族4人で食事をしたいと答えたそうです。その夢のために日々努力しています。

会社は、社長に就任して7年になります。社員も20人となり、とにかく忙しく動いています。「ありがとう」と言ってもらえる仕事をするをモットーとして、風通しを良く社員一丸となつて、社会貢献のために仕事をしています。まだまだ子供が小さく、会社も存続させていかなければならない環境ですが、未来を背負っていく子供たちのために手助けできることは惜しみなく頑張る、自分の家族や社員の家族を守り、いろんな壁にぶつかりながら様々な挑戦をしていきたいと思ひます。どうかこれからも長い付き合いになります。ありがとうございます。ありがとうございました。

例会報告

第2465回 ●2017・6・2 (金)

◇司会 宮澤会場監督補佐

◇開会点鐘 大石創元会長

◇君が代斉唱

◇ロータリーソング

◇手につかないで

◇お客様のご紹介

鳥羽会員御子息 悠爾君

◇食事と交歓 100万ドル

◇出席報告・ニコニコ発表

黒須クラブ出席財務委員長

会員105名中60名出席。

出席率62・05%。前回5月

26日のメイクアップ青木会員

外48名。前回5月19日の出

席率65・63%を75%に修正。

◇会長挨拶 大石創元会長

*おかげさまで後一か月となり

まして、ニコニコにも書いた通

り気を引き締めて務めさせて

いただきましたと思います。

*昔から、「男のくせに」や「男

の子だろう」と散々そういう

ことを言われまして、どうし

て男に生まれたのかなとつく

づく思っていたところ、印象に

残った文章がクマヒラ製作所

の冊子「抜粋のつづり」にあ

りました。(雨の日に電車内

で転んだ小学生の男の子が

周囲の手助けを断り「男の

子だから自分で立てる」と

言って立ち上がった話と、死期

が近づいた母子家庭の少年

が、声をあげて泣く妹に「女

の子はお母さんになるんだか

ら泣いちゃダメ」と父親の役

割さながら言い聞かせた話

そして、育て方として男の子

も女の子もなく皆同じ人間

という考えは正しいが、この二

人の少年の育てられ方もま

た正しいという文章を読み上

げられました。(この文章を

読みまして、「男の子なんだか

ら」などと言われたこともあ

ながち間違っていたのだった

と思つた次第です。

◇幹事報告 峰尾幹事

*メールボックスの整理をな

るべく今月中にお願いします。

*6月16日は炉辺夜間例会、

30日は最終夜間例会ですの

でメイクアップをお願いします。

*本日の最終理事会に京王プラ

ザホテル八王子から17:30に

バスが出ますのでご利用くだ

さい。

◇三祝

担当：原 啓一郎親睦委員

会員誕生祝い

関会員、中村会員、村内会

員、久保会員、寺澤会員、神

辺会員、井上会員、池田会

員、石井会員、坂下会員、

会員令夫人誕生祝

石田なおみ様、森 文子様、

加藤明美様、久保由美子様

結婚記念祝

黒須会員、神辺会員、山田会

員、久保会員、大田薫会員、

鈴木雅徳会員、橋本孝会員、

三浦会員、森崎会員、明利会員

◇スピーチ紹介 市川会員

スピーカー 秋間勝仁会員

テーマ インニエーション・ス

ピーチ

◇閉会点鐘 大石創元会長

ニコニコボックス

●2017・6・2 (金)

◇大石創元会長・会長の任期

もあと一ヶ月になりました。

気を引き締めて務めたいと

思います。

◇峰尾幹事・最後の一ヶ月に

なりました。五回の例会、宜

しく、お願いいたします。

◇村内・本日誕生祝いを頂き

ます。ありがとうございます。

◇竹松・5月28日、宮城県鳴

子で開催された本年度東日

本シニア剣道大会で、お陰様

で優勝しました。過去4年

間の成績は、優勝3回、準優

勝1回の好成績です。日頃

のご支援に感謝。

◇石井、中村、井上・今月は誕

生月ですので。

◇黒須・今日で結婚36年を迎

えましたので。

◇鈴木重春・秋には結婚50周

年を迎えます。

◇坂下・今日は三祝にて誕生

祝いを頂きますので、75才、

後期高齢者の仲間入りです。

◇神辺・お誕生日のお祝いと

結婚記念で、お祝いをいた

します。

◇スピーチ紹介 市川会員

スピーカー 秋間勝仁会員

テーマ インニエーション・ス

◇山口・馬場会員が警察ボラ
ンティアに参加している記
事を見つけてくれ、委員会
報に載せてくれましたので。

◇秋間勝仁・今日はインニエー
ションスピーチよろしくお願
いします。(順不同・会員敬称略)

六月三祝

水無月(みなづき)

誕生花 薔薇 紫陽花
誕生石 真珠



会員誕生祝

村内 道昌 75回

坂下 幸夫 74回

石井 昭久 66回

久保 英生 58回

関 和之 58回

中村 晋也 58回

寺澤 大介 54回

神辺 和幸 49回

井上 知巳 49回

池田 勝 49回

会員令夫人誕生祝

石田なおみ様

森 文子様

加藤 明美様

久保由美子様

結婚記念祝

明利 彊 46回

三浦 眞一 43回

山田 和男 43回

久保 英生 39回

黒須 弘道 36回

森崎 博之 34回

橋本 孝 31回

神辺 和幸 30回

大田 薫 29回

鈴木 雅徳 24回

(順不同 会員敬称略)

卓話「みんなの知らない八王子の偉人」肥沼信次博士

2017年6月9日(金)



塚本回子氏

みなさまこんにちは。今日は貴重なお時間を頂戴いただきましてありがとうございます。最初に分かりやすい映像がごさいます。非常にコンパクトにまとめた現地取材映像です。その後に私の思いをお話しさせていただこうと思います。

映像(※)

この映像は中央大学三年生の学生さんがこの事を知り自分の研究テーマ、卒業論文にしたそうです。そして一人で現地に行き、取材をして参りました。彼女は今年卒業しNHKのディレクターになりました。それくらい自分で思った事をやり遂げるという人。若い人がこうやって想いを繋いでくれる事がとても嬉しく見ていただきたいと思います。紹介させていただきます。

私が肥沼さんを知ったのは今から12年前になります。ペルリン大学にいらしていた先生がこの事を知りまして「これは八王子の人が知らないかもしれない」という事で小さい講演会を開いてくださって、そこでこの事を知りました。こんな事があるのかとてもビックリしました。半信半疑で自分でも先程の学生さんと一緒に現地に行ってみようと思ひまして肥沼さんのお墓参りに行きました。現地で市長さんを表敬訪問させていただいたりして見てまいりましたけど本当の事でした。あちらの町としては八王子と姉妹都市になりたい、肥沼信次の出身地、八王子と是非親しくしたいと願っておりまして帰ってきてから八王子市の市長さんに申請したり色々したりしたのですがあちらも小さい町ですし、中々遠く思うようにいきませんでした。実際今年おかげさまで友好交流協定を結んでいただく事が出来まして7月10日に市長さんと同行して調印式に行かせていただきます。いよいよそまなつたのですが本当に7

千、8千ぐらいの人口しかない小さな町なのです。そこで八王子とは大きさが雲泥の差ですが私は「遠い」とか「大きき」は関係無いと思ひます。そこに流れている魂というのがとても尊敬されていてそれが二つの都市を末永く友好都市として繋いでいって欲しいと思ひております。

私がなぜこの博士の事で一生懸命になるのかなと考えました。色々本を読んだり調べたりして一つ分かった事、肥沼博士はアインシュタイン博士を大変尊敬していました。そして彼の祖国であるドイツに行つてみたいという思いがありました。アインシュタインはご存知のように物理学者ですけども名言を沢山残しておられます。その中の一つに「誰かの為に生きてこそ人生には価値がある」という言葉があります。その言葉身をもつて実践された方ではないかなと思ひます。このような素晴らしい方を八王子の出身であるという事を誇りにもつてこれからの子供たちに伝えていきたいと思ひております。今小学校中学校で道

徳の授業というのがなくなっているのが特別な総合学習の時間に呼んでいただきまして肥沼博士の話をしてくださいという事で出向いております。その時に子供たちに「貴方達はお医者様ではないから人の命を救うという事は出来ないかもしれないけど自分だったら何が出来るか。自分が良ければいいという考え方はなくて他人の為に何が出来るかという事を考えてください」と伝えております。

それともう一つ、先程の映像でベルリンの壁が出てきましたがベルリンの壁が出来たせいで情報が途絶えてしまつたのです。肥沼博士が亡くなつてから43年間、日本にその死が伝わることはありませんでした。肥沼博士のお父様は終戦の1年前に亡くなられています。ですがお母さまは戦争が終わつて帰つてこない息子を探します。どうしたのだらう、噂は色々ありまして本当に手を尽くすのですが全く分かりませんでした。7年半探し続けて亡くなつてしまっています。実は息子はこんな立派なことをして地元の方に尊

敬されていると知つたらどんなに慰めになったことだろうと思ひます。自分の息子が大変素晴らしい事をしたのだと知らせたかったと思ひます。そういう事を考えたときに「情報が途絶えること」というのは恐ろしい事だと思ひます。今どこかで壁を作ろうとしている人も居るようです。けれどもでもない事です。やはり自由に物が考えられて自由に考えられてどこでも自由に行けて情報が途絶えるようなことがないような平和な世の中であつてはならないと思ひています。

この2つの事をお伝えしたくて本日お時間いただきました。貴重なお時間いただきました。皆様のおかげで憲章碑も作る事ができます。憲章碑はみんなの力で建てようという事で場所は市からいただきました。が憲章碑自体は皆さまのご寄付にて建てる事が出来ます。本当にこれからも活動はつとめ続けたいと思ひております。今後とも皆様のご支援をいただければと思ひます。本日は有難うございました。

※【映像内容】

第157回多摩探検隊

「ドイツの小さな町を救った
日本人医師の物語」

第二次世界大戦勃発後、エヴァースワルトという町に疎開した。第二次世界大戦終息後、ドイツ北東部、ポーランドとの国境に近いヴリーツェンという町で発疹チフスが流行していました。戦争によって上下水道等のインフラが完全に破壊され不衛生な状態に置かれていたことが原因でした。町に医師が一人も居なかった事が流行に拍車をかけました。そんな中、ソ連軍の要請により肥沼さんは単独でヴリーツェンに向かう事となります。肥沼さんはたった一人の医師として多い日では1日150人の患者を診ていたといひます。市民にとつては唯一の希望でした。しかし1946年3月6日、肥沼さんも発疹チフスを発症。2日後の3月8日彼は「日本の様が見たい」と言い残し37歳の若さでこの世を去りました。肥沼さんは死後ヴリーツェン市民の手により共同墓地に埋葬されました。しかし当時ソ連軍の占領下にあり情報とは完全に遮断されていました。この為死去の知らせが日本に届く事はありませんでした。

1989年ベルリンの壁崩壊後、市や地元の郷土史家が肥沼さんの事を日本に伝えようと動き出し、一カ月後肥沼さんの遺族が見つかると共に肥沼さんの出身地である八王子市とヴリーツェンの交流が始まりました。ヴリーツェンでは肥沼さんについて授業で教える学校や、肥沼さんがぎっつけで八王子市へ交換留学する人も居ます。

たった一人の医師としてヴリーツェンを救った肥沼さんの死から70年。今なお、町の人々に慕われ続けています。今なお慕われ続けている理由。それは業績だけでなく彼の人間性、それは業績だけではなく、今でも彼の存在は遠いドイツと日本を結びつけています。

例会 報告

第2466回 ●2017.6.9(金)

◇司会 河西会場監督

◇開会点鐘 福山眞吾副会長

◇Rソング 奉仕の理想

◇食事と交歓 中華

◇お客様のご紹介

塚本回子様、梅沢香代子様、サラ・サンダーソン様

◇出席報告・ニコニコ発表

石田クラブ出席財務委員



出席報告・ニコニコ発表
竹松出席財務副委員長

会員105名中60名出席。

出席率62.05%。前回6月2

日のメイクアップ青木会員外

13名。

前々回5月26日の出席率

58.33%を100%に修正。

◇会長挨拶 福山眞吾副会長



会長挨拶
福山副会長

*今日は塚本回子さんにおいで

いただき、肥沼信次博士につ

いて講演していただきます。ド

イツで多くの人を助け、自ら

も病に倒れて亡くなりました

た。その縁で八王子とドイツ

のヴリーツェン市が友好交流

協定を結ぶことになりました

た。中町公園の角に肥沼博士

の生家があったのを覚えてい

ます。塚本さんを始め皆様の

お力添えにより中町公園に

肥沼博士の碑ができることに

もなりました。行政の決めた

場所ではなく、交渉により一

番良い場所に建つことが決

まった次第です。

*同行いただいた梅沢さんと

は40年程の付き合いになりま

す。黒須前市長の時に補助

金を見直す会で一緒に勉強

した仲です。

*季節が変わって梅雨入りにな

りました。鎌倉、茨城、栃木な

ど紫陽花がきれいな観光地

がたくさんあります。雨に濡

れた紫陽花を見るのもいいの

ではないかとそのように感じ

ました。

◇感謝状受領報告

第37回米山功労クラブ

◇幹事報告 瀬沼副幹事



幹事報告
瀬沼副幹事

*次回6月16日の夜間例会

は、京王プラザホテル八王子

で18時からです。

*本年度の理事の方々へ理事

会資料が事務局にございま

すのでお受け取りください。

*5月末日をもってまして小町

会員が退会となりました。

◇平和フェローご挨拶

サラ・サンダーソン様

◇スピーカー紹介

鳥羽正浩会員

スピーカー 塚本回子様

テーマ みんなの知らない

八王子の偉人 肥沼信次博士

◇ご挨拶 梅沢香代子様

◇閉会点鐘 福山副会長

◇全員協議会

議題 名誉会員について

内容説明 福山副会長

満場一致で承認



ニコニコボックス

●2017.5.12(金)

◇大石創元会長 本日は例会

を欠席致します。宜しくお

願い致します。

◇峰尾幹事 塚本講師をお迎

えして

◇三浦・サラさんをお迎えし

ましたので。

◇福山・肥沼博士のお話しを

たっぷり聞かせて頂きます。

◇同行の梅沢さんもご苦労

様です。

◇加藤直也 今月は妻の誕生

日プレゼントいただきました。

た。ありがとうございます。

◇久保・私の誕生日また、結

婚記念日お祝いありがとうございます。

◇明利・結婚記念お祝いあり

がとうございます。

(順不同・会員敬称略)

平和フェローご挨拶



サラ・サンダーソンさん



ホストエリアセミナー・年次セミナー修了
東ヶ崎潔記念ダイアログハウス
国際会議場 2017.6.3

二年間の私のクラスと研究は終わりました。とても素晴らしい経験でした。このロータリー平和フェローシップでの経験からイスで行なわれるジュニアサマースクールで難民問題における高等教育の役割について勉強することになりました。10月からはアフリカのアメリカ大使館で言語と文化のプログラムコーディネーターを務めます。地元の大学教員やアメリカ平和部隊のボランティアと共に教育者に向けたトレーニングプログラムや国際的な言語や文化の交流の機会を増やすために働きます。これらのことはICU平和フェローシップのお陰です。今迄のサポートそしてこの世界をより良くするチャンスを与えてくださったことに心から感謝しています。本当にみなさんありがとうございます。



炉辺夜間例会

2017年6月16日(金)

6月16日(金) 炉辺夜間例会がクラブ奉仕委員会(福山委員長)主催で行われました。テーマは「事業と地域にロータリー」でベテラン、中堅、ロータリー歴の浅い会員がバランスよく編成されたテーブルを囲み、ざっくばらんな討議を行いました。普段ではなかなか聞けないような話しもあるなど、とてもいい時間となりました。

例会報告

第2467回 ● 2017.6.16(金)

◇司会 羽田会場監督補佐

◇開会点鐘 大石創元会長

◇ロータリーソング

我らの生業

◇出席報告・ニコニコ発表

杉本クラブ出席財務委員



出席報告・
ニコニコ発表
石田
出席財務委員

会員104名中63名出席。
出席率66.32%。前回6月9日のメイクアップ赤上会員外16名。前々回6月2日の出席率63.16%を77.90%に修正。

◇会長挨拶 大石創元会長



会長挨拶
大石創元会長

*今日は久しぶりの炉辺夜間例会です。昔、本島さんという方からロータリーに入ったけど馴染めなかった時の話を聞きました。同期の中で吞兵衛を探し、その飲み仲間から親しくなつてロータリーが楽しくなつたそうです。その飲み仲間には河西さんといった聞きましうと思ひますが、ざっくばらんな話が出来ますよう楽しみにしております。

◇クラブ奉仕委員会より

倉田 正副委員長

◇乾杯 大石和春 パスト会長

◇総評

クラブ奉仕委員会

福山眞吾委員長



クラブ奉仕委員会
福山委員長

◇閉会点鐘 大石創元会長

ニコニコボックス

● 2017.6.17(金)

◇大石創元会長・炉辺会談よろしくお願い申し上げます。

◇峰尾幹事・久しぶりの炉辺例会、クラブ奉仕委員会の皆さん宜しくお願いいたします。

◇小泉・孫のサッカーをみてニコニコ。

◇加藤政利、石井、大石和春、西川、城所、諸星金子、中村、畑山・炉辺夜間例会よろしくお願ひします。

◇山田・結婚記念日のお花ありがとうございます。

◇白柳・THE GRAND HILLS HACHIOJI CLUBを八王子西ロータリークラブの会員の方々に使っていただき心より感謝申し上げます！

◇福山・皆さんざっくばらんな意見を。
(順不同・会員敬称略)

東京八王子西ロータリークラブ

東京都八王子市旭町 14 番 1 号

京王プラザホテル八王子 8F 〒192-0083

TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753

<http://www.hachioji-west-rc.org>

会長 大石 創元 幹事 峰尾 孚

広報委員会 寺澤大介 青木清治 土岐静雄 坂下幸夫
井草一寿 浅川立憲 大田 薫 秋間勝仁



高橋光康会員、T村肇会員

本人の希望により名前と顔を伏せさせていただきました。

6月3日(土曜日)に開催された北原ミレイコンサート & 葡萄樹歌謡発表会に高橋会員とT村会員が参加されました。日頃、紳士の社交場・娯楽の殿堂“葡萄樹”で鍛えた自慢の歌声がファンからの黄色い声援をいっぱい受け、いちょうホール大ホールに所狭しと響き渡りました。

Debut?